

<b>13028 児童文化 I a、b</b> Juvenile Culture I 13085 読書と豊かな人間性 a、b		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	原口 なおみ	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	司書教・社教(E・Pe・C) 社教(Pc) 司書教(W・F)
サブタイトル	子どもにとって「文学」とは何か？		
授業内容 ねらい	話し言葉（口承）の世界から、書き言葉（識字）の世界に入っていく学童期の子どもは、どのように文学を楽しみ、成長の糧にするのだろうか？聞くことと読むことの仲立ちとなるストーリーテリングを通して、子どもにとっての物語の意味を考える。 昔話の構造を学ぶことで、子どもの読書の意味を考え、良い絵本を選ぶ基準を知る。		
授業計画	1. ストーリーテリングとは？ 2. 子どものための文学の歴史 3. 口承文化 4. 識字力とは 5. 『グリム童話』の成立 6. 昔話の文芸学 7. 子どもは昔話をどのように受け止めるか 8. 昔話の「残酷さ」について 9. 昔話を語ることの意味 10. 昔話絵本の問題 11. アンデルセンのメルヘン 12. 近代日本の児童文学と西洋近代児童文学 13. 石井桃子の仕事 14. 『こどものとも』と現代日本の絵本 15. 良い絵本・童話の条件		
教科書 参考書	教科書は特に定めない。必要に応じてプリントを配付。 参) 小澤俊夫著『昔ばなしとは何か』（福武文庫） 石井桃子著『子どもの図書館』（岩波新書）		
評価方法	主に学期末のレポート・試験によるが、授業中の提出物も参考にする。		
事前準備学習 履修条件等			